

## 私たちの暮らしと税

大阪府立野崎高等学校 一年

黒田 海愛

税は私たちの暮らしの中でたくさん払われています。例えば、お酒を買う人には酒税、たばこを買うにはたばこ税というものがあります。税は私たち国民に払わなくてはなりません。税は私たちが憲法で定められているので、お酒やたばこを買わない人も、何かしらの形で税を払っています。買い物や、レストラン等で外食をしたりする時に、買う商品の原価にも消費税という税がついてきます。土地や建物を所有している時は固定資産税という税を払わなくてはなりません。ですが、その私たちが払う税は国が色々な物や色々な人を支えるために使っています。

一つは、巨大地震対策で防潮堤液状化対策などによる、津波から街を守ると共に、老朽住宅の除去など、密集市街地対策により防災力を高める。

このようにして、地震に強い街づくりを進めるために使われています。そして二つめは、障がい者の雇用促進で、障がい者の雇用を促進するとともに、働き続けるための生活面や職場定着を支援するために使われています。そして、まだまだ税金の使われている

道はたくさんあるのですが次で最後にしたいと思います。三つめは放課後児童クラブの整備です。対象児童の拡大等により必要となる市町村の施設整備に対して補助を行うために使われます。

こうして私たちは生活面で色々な税を国に納めています。でも、なぜ税を納めなくてはいけないようになったのでしょうか。それは歴史上の人物で「学問のすすめ」をかいた福沢諭吉がはじまりでした。彼は、「政府は法令を設けて悪人を取り締め、善人を保護する（人々の生活や安全を守る）。しかし、それを行うには多くの費用が必要になるが、政府全体にはそのお金がないので、税金としてみんなに負担してもらおう。これは政府と国民双方が一致した約束である。」と述べています。この、福沢諭吉の発表した言葉から、この決まりは、はじまりました。

そして最後に私が税のことを勉強して振りかえった結果、一番伝えたいことは、税の本質です。つまり税とは、公共サービスの対価であるということ。次に、自らの代表が国の支出のあり方を決めることと、自ら国を支える税金を負担しなければいけないことは表裏一体であるということ。最後に、税の使いみちを監視する（関心を持つ）ことも納税者として重要だということです。

税は、私たちの暮らしを豊かで安全にするものです。そして、私たちは、主権者として

税の使い道にも関心を持つことも大事になってきます。